



一人ひとりを大切にし  
鍛え、伸ばす教育実践を通して



生徒も職員も  
わくわくと登校し  
笑顔で下校する学校に



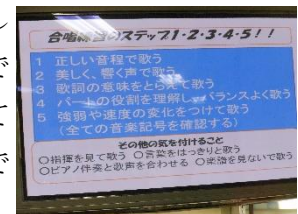
### 1 年音楽「合唱コンクール練習」

今年の合唱コンクール、1年生の課題曲は「夕焼け小焼」

自由曲は 1組「希望という名の花を」 2組「Cosmos」  
3組「あすという日が」 4組「大切なもの」

に決まったようです。音楽の時間に練習して

いました。パートごとに分かれて練習です。気分はまだまだですが、10月に入るとどのクラスも金賞を目指して学級練習に取り組むこととなります。1年生のこの時期は、変声の時期で声が出にくい男子が多いようですが、にこやかに歌っていました。



### 3 年社会「男女平等・ノーマライゼーション」

小泉新環境大臣の育児休暇発言が話題になっていますね。「男は仕事・女は家事と育児」という固定した考えを改めようと、男女雇用機会均等法や男女共同参画社会基本法が制定されています。男性の育児休暇を促進する法律も改善されていますよね。

また、障がいの有無にかかわらず、全ての人が社会の中で普通の

生活を送ることができる「ノーマライゼーション」の実現も現代社会には求められています。写真は、一般的に見られる街中の「バリアフリー」を探そうという授業の場面です。たくさん見つけていました。3年の社会は現代日本の社会生活を学ぶ「公民」の授業、大切な内容ばかりです。



### 2 年体育「走り幅跳び」

走り幅跳びの体育の授業を少し見学しました。いつもながら、先生の元気のいい声が響いています。「そんな助走でいいのか・・・」という注意もありますが、その大半が生徒のいいところへの声掛けです。生徒も意欲的に学んでいます。幅跳びは「助走スピード」と「飛ぶ角度」が大切だそうです。なるべく高く跳ぶことを意識する

ように、コーンに渡した高さ40cmほどのバーを踏切から50cmくらいのところにおいて練習していました。それが無理な生徒は、低いものが準備してあります。それから記録測定。毎時間、自己記録の更新を楽しみにする生徒が多いようです。

## 市中体連陸上大会 9月11日(水)



熊本市中体連陸上競技大会が、11日県総合運動公園陸上競技場（えがお健康スタジアム）で行われました。本校からも選抜された41人の生徒が選手及び補助員として参加しました。数年前までは、市の施設である水前寺陸上競技場で行われていましたが、熊本地震で使用出来ない部分があり、会場を変更しています。10月にはラグビーのワールドカップの試合が実施されるスタジアムです。こんなすばらしい会場を走れる喜びを感じて欲しいと、激励会では話しました。

今年は、選ばれた選手だけでなく、希望する生徒も夏休みの練習に参加しました。100名近い生徒が、夏休み早朝からグラウンドを駆け回っていました。壮観な眺めです。今しかできない体づくり・心づくりが行われているなあと感動しました。今の頑張りはきっと無駄になりません。

「一緒に走ったみんなの分まで、頑張って走ります」と代表の山口君が、挨拶しました。

当日の参加者は約1700人、熊本市全体での大運動会という雰囲気。昨年のように雨も降らず、晴れたり曇ったりの空でしたが、とても蒸し暑い1日でした。大会記録も4つほど生まれ、素晴らしい走りに喚声も多く上がっていました。城南中では、1年生の道脇君が1年1500m走で3位に入賞しました。その他の子ども達も、走り終えた後「緊張したあ」と言いながらも、清々しい笑顔でチームの下に帰ってきてくれました。記憶に残る、いい経験ができたようです。